

○幼稚園に關する文部省夏期講習會

に つ い て

前號に大體豫告して置きましたが、今夏、開催せらるべき幼稚園に關する、文部省夏期講習會は、去る六月十九日の官報に詳しく發表されました。期間は七月二十六日より八月四日迄講師ならびに講習科目の内容は大體次の通りです

東京女高師教授 菅 原 教 造

一、兒童の繪畫 (八時間)

- 一、本能と智能
- 一、中樞神經と交感神經
- 一、文化階段と精神生活
- 一、論理以前の精神
- 一、性慾宗教科藝術の原始的關係
- 一、鑑賞と創作
- 一、本能と藝術
- 一、藝術慾と藝術能
- 一、表現の要求と心像の象徴化
- 一、原型としての強緩及廢頽
- 一、原型としての眞實及素朴

東京女高師講師 青 木 醇

一、保育衛生 (十四時間)

- 一、小兒身體の特徴と其發育
- 二、幼兒の養護

幼兒と食物、空氣と日光、衣服、居室、清潔、戶外遊戯、休息と睡眠、齒牙の保護、幼稚園衛生

三、幼兒と體質

四、幼兒と傳染病 其他幼兒に特有なる疾病

五、健康小兒と病兒の觀察

六、病兒の介抱と應急の處置

東京女高師講師 藤 五 代 策

一、玩 具

甲、理論 (五時間)

一、歐米に於ける玩具界の大要

二、我國に於ける玩具の發達

三、玩具の教育的價値

四、幼稚園的玩具の選擇

五、玩具使用上の注意

乙、玩具製作 (十五時間)

一、活動玩具

蝶、蜻蛉、金魚、鯉、水鳥、犬、兔、豚、牛

象、鶴と狐、變り人形、桃と桃太郎、體操人

形、米搗、木挽、卵達磨、踊る繭、反動獨樂

不思議な鼓、舟、動船等

二、竹笛類

雲雀笛、蟬笛、鷄笛、鶯笛、蛙笛、猫笛、牛笛等

三、提ケ籃類

檀子籃、市松籃、網代籃、龜甲籃

(注意 講習員は次の工具及材料を要す)

一、工具……切出小刀、木鋸、コンパス、小形鋸、鼠齒鋸
針、一尺指、繪具皿、繪具筆(以上を東京にて新調すれば約一圓六十錢を要す)。

(二)材料——羅紗紙、ホール紙、麥稈、絲、粘土、木片、
女竹、糊、繪具(以上約一圓五十錢を要す)。

以上

○日本幼稚園協會夏期講習會

前號豫告の通り本會は、文部省講習會に御出席の方々の御便宜を計り、特に土川五郎氏を聘して來る七月二十六日より八月二日迄、毎日午後一時より表情遊戯及律動遊戯の講習を致します。多數御出席下さることを希望致します。

因に、今年に單に律動遊戯のみでなしに、表情遊戯も教へて下さることになつてゐます。これは在來の桃太郎、金太郎などを、單に表象的のものでなしに筋肉を大きくうごかす、またリズムにかなつた様にと、土川先生が多年御研鑽になつたものでありま

す。

その時間割は大體左の通りです。

七月二十六日、二十七日、三十一日、八月二日の四日間は毎日午後一時より四時迄、八月一日(日曜日)は特に午前八時より十一時迄。

日本幼稚園協會主催 慈善音樂會の報告

本會は、現下の時勢に鑑みて託兒所の問題や、其他本會が將に當るべき社會事業に向つて、其の計劃を實行致しますために、先づ必要な基金を得んと、既報のごとく、去る六月十九日午後二時、東京音樂學校大講堂に於て、慈善音樂會を開きました。時恰も諸種の集會や、音樂會と相重なりましたにも拘はらず、幼稚園關係者は申すにおよばず、ひろく家庭の方々や、また官廳の方面まで非常なる同情をよせられ、お蔭をもつて、意外の盛況でありましたことは、會長初め發企人一同、本會關係者の厚く感謝するところであります。これによつて本會は社會の目下の期待に添ひ得る事業の開始に、著手したく、此後とも、一層ひろく、本會の各種事業に對して、各

方面の厚き御同情を切におねがひする次第であります。

當日は、生憎朝からひどい雨でしたが、午後の開會までにはいくらか、小やみなれかしと、念じた甲斐あつてか、開會の少しまへには、薄日がもれかけました。嬉しと思ふ間に、また、しどくどふり出しました。空模様はまことに定まりませんでしたのに、會場はと見れば定刻前十分、すでに各等とも、あます座席もわづかとなつてしまひました。いよいよ開會となるや、來會者はふえるばかり、眞に堂にあふるゝとはこのことで、ひきつゝいての演奏に折角の來會者を席に案内する暇さへなく、中には立つたまゝきいていたゞく様な失禮をしたことはお詫び申上なければなりません。あとで音楽學校の方に伺ひますと、かゝる盛大な會は近頃珍しいとのことでした。如何に本會に對して皆様の御同情の深かつたかを謝するごゝもに、此後本會の事業についても世間の同情を得て、いよゝゝ發展し得る確信を得た次第であります。

左に決算報告の大體を摘録いたします
収入の部

一金貳千參百九拾七圓也

内 譯

一金貳千參百四拾貳圓也

一金五拾五圓也

入場券賣上高
有志寄附

支出の部

一金五百九拾壹圓貳拾六錢也

殘 高

一金壹千八百〇五圓七拾四錢也

以上

○
子供が、自分の久しく弄んだ玩具や、使ひ慣れた道具を、終に壊したり裂いたり損じたりするのは、もとゝ潜在的變性によるのであるといふ説がある。が、事實上、好奇心によることが多いやうである。即ち、其物の組立や内部の模様を知りたいといふ慾望から壊すことが往々あるのである。私の知つて居る子供は、花冠の尊についてゐる様子が知りたいと云つて花を轟つたり、羽が翼について居る様子が知りたいと云つて鳥の羽を轟つたりした。博物學者の信ずる所によると、組織結合するよりも破壊分割した方が調査の目的を達するに都合がよいさうである。即ち、活かすよりも殺した方が知るには都合がよいのである。兒童が物を壊すのは咎むべきことではない。(ゲーテ)